

令和7年度 第3回嘉麻市男女共同参画審議会会議録（要約筆記）

- 1 審議会等の名称 令和7年度第3回嘉麻市男女共同参画審議会
- 2 開催時期 令和7年8月26日（火）14時00分～16時20分
- 3 開催場所 碓井庁舎2階会議室4
- 4 公開又は非公開の別 公開
- 5 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）
- 6 出席者等
 - （1）出席委員
河野委員（会長）、山田委員（副会長）、上川委員、辻委員、大村委員、上野委員、齊藤委員、春口委員、三木委員、浦田委員、木村委員、川尻委員
 - （2）欠席委員
なし
 - （3）事務局
男女共同参画推進課長、男女共同参画推進課長補佐
- 7 傍聴人数（会議を公開した場合のみ）2人
- 8 議題及び審議の内容
 - （1）会長あいさつ
 - （2）議題
 - 1）所管課ヒアリングについて
 - ①産業振興課
 - ②こども育成課
 - ③生涯学習課
 - 2）実施状況調査審議会意見欄の提出について
 - 3）その他

【審議の内容・主な意見】

- 1）所管課ヒアリングについて
○所管課ヒアリングについて、調査票に関する質問回答票を所管課より説明。
〔意見等〕
 - ①産業振興課
○（男女計画）事業番号31「商工自営業に従事する女性に対する支援」について
（課長補佐）「①能力向上研修やセミナー等の情報提供はどの程度行っていますか。また、そうした情報提供が女性の起業の支援にどの程度の効果を与えていますか。」の回答です。情報提供については、県などの研修、セミナー等の情報を入手した際はメールで共有しています。起業支援にどの程度の効果があるかについては、起業相談数は、商工会では令和6年度10件、令和7年度5件です。商工会議所では令和6年度2件、令和7年度1件です。今後も研修セミナー等の情報、起業に関する情報を入手した際には、引き続き、メールやSNS等で共有するように努めます。
「②商工会の女性の役員は、何名中の何名ですか。また、取組内容には、『女性役員の登用を促進するよう働きかけを行います。』とあります。どのような働きかけを行うのですか。」の回答です。現在、女性役員数は、商工会役員20名中、1名、商工会議所役員41名中、0名です。現在のところ、女性役員登用の働きかけについては行われておりませんが、今後商工団体の会議の際にはしっかり伝えていきたいと考えています。
- （委員）商工会役員をしています。産業振興課から女性役員に対しての登用の推進等に

ついていたことがあります。

(課長補佐) 現在のところは行えておりませんが、今後は方法等を検討し、やっていきたいと考えております。

(委員) 移住定住起業チャレンジ支援事業補助金交付事業、女性の起業を支援しますについてです。女性がどんな事業を起業しているのか、またそれが認められた具体例を教えてください。

(課長補佐) 業種は、令和6年度の10件は小売業が4件、サービス業が4件、飲食業が1件、その他1件です。令和7年度の5件は、サービス業が3件、飲食業が1件、その他1件です。

(委員) この件数は、全て交付金が出た分ですか。

(課長補佐) はい。

(委員) 事業はうまくいっているのでしょうか。

(課長補佐) 廃業したとは、現在のところ聞いてはおりません。

(委員) 年齢はどのようになっていますか。

(課長補佐) 20歳代、30歳代の方、飲食関係では、50歳代の方がおられます。

(委員) 嘉麻市に移住するということで補助金を受けられると思うんですが、どのくらい定住すればいいというようなことがありますか。

(課長補佐) 5年間です。5年未満であれば、返還の対象となります。移住となると別の補助金となると思います。詳細につきましては、後日回答いたします。

(委員) 2点あります。1点目は、起業後も支援をして欲しい、事業が軌道に乗るまで相談に応じて欲しいとの声があります。

(課長補佐) 起業支援は行います。

(委員) 起業した人の特集、誕生したお店のPR、また起業支援の補助金について広報紙に掲載することか必要ではないかと思います。

(課長補佐) 広報紙以外にSNS等、いろいろPR手段というのがありますので、検討し実施していきます。

(委員) 起業後の支援は特にされていないということですか。

(課長補佐) 現在の状況については、後日回答いたします。

(委員) 「女性の経営参画に向けての意識向上」「能力向上研修やセミナー等の情報提供」とありますが、起業した方にも情報提供されているのですか。

(課長補佐) 情報が入れば、実施しています。

(委員) 具体的に産業振興課で実施していることはありますか。

(課長補佐) 確認し、後日回答いたします。

(委員) 起業後の相談、起業した方を商工会、商工会議所へ繋ぐため、産業振興課が連携をとる必要があると思います。

(課長補佐) 連携、相談窓口等、課題に対して検討していきたいと思います。

(委員) 女性役員については、産業振興課としては、増やそうというふうに思われているのですか。

(課長補佐) はい。

(委員) 増やす方法や増えない理由について教えてください。

(課長補佐) 商工会、商工会議所の役員決定について、役所が関わることは難しい状況です。そのため女性役員については、働き掛けをやっているという状況です。

(委員) 商工会でも女性役員を増やしたいという考えはあります。理事会の開催時間に問題があると思いますが、2割ぐらいは必要かなと思います。

(委員) 嘉麻市移住定住起業チャレンジ支援事業補助金について、地域指定加算20万円とあり、地域が嘉穂地区と市内の商店街となっていますが場所を教えてください。

(課長補佐) 加算対象地区については、後日回答いたします。

(委 員) 商工会の会員の女性は何名ですか。

(課長補佐) 後日回答いたします。

(委 員) 行政としての、女性の起業をサポートするってことなんですけど、嘉麻市の考えとして、女性の採用を推薦しますみたいな方針があるのですか。

(課長補佐) 後日回答いたします。

(委 員) 嘉麻市で起業してもらえるようにどうしていこうとか、起業した人同士のコミュニティみたいなものをつくっていくとか、女性起業者のネットワークのサポートをやっていくといいのではないかと思います。そういうコミュニティが広がってくれば、役員になろうかっていう女性たちも出てくるのではないのでしょうか。補助金やセミナーの案内はあっているようですが、それがどのタイミングでその人たちに入ってくるのか、その前後でどういう役割を果たしてるのか、そのあたりを少し考えていただきながら、もちろん、商工会等とも連携しながら、やっていく必要があると思います。その一連の体系を作っていく必要があります。女性が役員になりにくい本来の理由を考え、どうすればサポートできるのかという視点で進めていただけるといいなと思います。

②こども育成課

○（男女計画）事業番号7「嘉麻市男女共同参画推進条例を踏まえた就学前教育の推進」について

(課長補佐) 「①未就学児4人を育てる母として、性教育の必要性をととても感じています。具体的にどのような性教育教材を使ったのか気になります。」について、保育園から回答がありました。「いいタッチわるいタッチ」「だいじだいじどーこだ？」という絵本の読み聞かせをしているということです。

「②具体的な取組内容に「子どもがあらゆる暴力から大切な自分自身を守る方法を学ぶための研修を実施します。」とあります。令和6年度、全ての保育園、幼稚園等で行われた研修を教えてください。各々で、どの様な（講師）職員研修が行われているのか知りたいです。なかなか時間がとれないのではないのでしょうか。」について回答いたします。去年は、Zoomを使用し、CAP研修を行いました。私立保育園では、道園先生による研修がありました。保育士を対象とした研修、保護者を対象とした研修、5歳児園児を対象とした研修、この3つをワンセットとして、実施してありました。

「③包括的性教育を推進するために、全ての保育園、幼稚園等の子ども達が、同一レベルでの学習を終えて、学校教育課で作成されている学年ごとの学習内容へと引継がれるように、職員の研修をお願いしたいです。」についてです。包括的性教育についてですが、保育園では職員研修を行い、研修後のアンケートを学校教育課へ報告し、情報共有をしております。ただ、学年ごとの学習内容への引継ぎに関して連携は取れてません。今後の課題として、教育委員会と連携を取りながらとは思っております。

(委 員) この絵本は図書館にありますか。

(課長補佐) 図書館にあるかどうかは調べていません。保育園では保育士個人が所有しているものを使用したとのことです。

(委 員) 包括的性教育については、早期から繰り返し実施した方がいいと思います。

(課長補佐) 通常の保育の中で、おむつをかえるときにきちんと声をかけながら、それを心にかけているという保育園の先生方の意見も聞きますし、言葉が伝わらない時から声をかけながら、身につくような、保育をされてるっていうお話は聞いております。文科省と内閣府が連携して作成しております命の安全教育という指導手引き

の中で、幼児期におけるねらいということで、幼児の発達段階に応じて、自分と相手の心、体を大切にできるようにというところがあります。保育園へのアンケート結果でも、通常から、この命の安全教育についてというところに絡んで、時間を作って教えていたり、他の内容と合わせて教えていたりというところのご回答が大部分ではありました。対象年齢も、満遍なく取り組みをされてるというアンケートの結果は出ております。

(委員) ②の具体的な取り組みのところで研修を実施しますということで、研修のことを知りたいなと思います。研修会は、こども育成課が主催して実施しているのですか。

(課長補佐) CAP研修に関しては、こども育成課が主催で、研修を行っております。昨年度の道園先生の研修は、私立保育園主催での研修になります。

(委員) 毎年繰り返し同じような内容の研修になると思いますが、定期的の実施できていることについて説明をお願いします。

(課長補佐) 私立保育園に関しましては、予算的な話等できません。公立保育所については、毎年計画的に必ず職員研修を行っております。子ども達向けに子ども達が自分の身は自分で守るということ、大事なところは守るという内容の研修を、今年度しております。5歳児を対象に、市としては、毎年必ず職員研修、子ども達の研修を継続的に行う予定ではございます。

(委員) 子ども向けにすることも大事ですが、親が知らないと変わらないと思います。しかし、保育園に通っているお子さんの保護者は働いているため、忙しく参加が難しいと思います。

(課長補佐) 土曜日に実施された研修に参加したのですが、保護者の参加は少なく、参加していただくことは難しいと感じました。開催時間に関しては課題であると思っております。

○(男女計画) 事業番号 11「公立保育所職員等の研修・啓発の充実」について

(課長補佐) 「①現在の状況で「Zoom研修も同時に行い」とのことですが、オンデマンド研修にすることは可能ですか。」ということですが、著作権の関係や講師に了承を得ることが難しいため、可能かどうかは講師によると思います。現在Zoomを利用し、公立、私立の保育園の先生が同時に研修を受けることができるように体制を整えております。

「②研修実施後の成果として、職員がどの程度スキルアップしたかやジェンダー平等意識が向上しているかどうかを把握することは可能でしょうか。成果の把握まで取り組まれると事業の効果を検証することができますので、ご検討ください。」について回答いたします。研修後に必ずアンケートを実施し、振り返りを行っています。保育士が保育の振り返りを行い、それを公表しなければならないとなっておりますので、公立、私立とも検証をやっていると思っております。

「③職員研修として全体研修を2回実施されています。その内容(講師、テーマ等)を教えてください。」につきましては、先ほど説明したとおりです。私立保育園の参加が課題です。以前は、全部一堂にそろって研修というのが難しかったんですが、昨年からは、Zoomを利用して、研修に参加していただいております。時間の方もちょっと遅くしております。研修時間をいろいろ工夫しながらとは思っているんですが、お預かり時間が長い保育園等もあり、皆さんご参加いただけるというのがやっぱり難しかったです。それから、子育て世代の保育士もいらっしゃるの、なかなか仕事が終わった後に残って研修を受けるというのも難しい、介護だったり、育児だったり様々な事情がある方がいるという認識でした。

(委 員) ②の説明で年度ごとに振り返りを行ってらっしゃるという話がありました。その振り返りはフォーマット等、きちんとしたものがあるのですか。

(課長補佐) 施設の指導監査があり、その中でですね、きちんとしなければならないという項目になっております。セルフ保育士のセルフチェックというシートがあります。市内の保育園は、それを活用しており、ホームページ等で公表しております。

(委 員) 振り返りは保育園ごとに行っていますか。

(課長補佐) はい。

(委 員) どのくらいの効果がみられたのかということを調査票に記載しているとわかりやすいと思います。結果を見ていきたいと思います。

○(DV計画) 事業番号 18「面前DVにより影響を受けた子どもへの心理的ケアの推進」について

(課長補佐) 「①目標の設定で「専門職による研修を実施し」とのことですが、私立、公立を問わず全ての保育園、幼稚園等で実施されているのですか。また、虐待が起きているいないに関わらず、気になる児童の様子などは、全ての保育園、幼稚園等で情報共有はされているのでしょうか。」の気になる児童の様の情報共有について回答いたします。各保育園・施設、こども育成課、子育て支援課、3つの担当と情報共有し、お子さんの様子を見守っているという状態でございます。

「②虐待の早期発見や関係機関との連携に関する取り組みについて、具体的にどのようなことを実施しているか教えてください。特に、発見とその後の対応における市内・県内の関係機関や他課、保護者との関係づくり、情報共有、役割分担等の実際についてご説明いただくと実情がよく分かります。」については、各保育園で毎朝、保育士が子どもの様子、子ども同士の会話等を観察し、変化が見られた場合は、市の子育て支援課に情報を提供し、どう対応するかを決めております。子育て支援課、こども育成課、保育園は情報を一緒に共有するような状況を作っております。市の担当が支援の必要なお子さんについて、各施設・保育園に情報を渡し、日常生活の様子を見てくださいますと話をしています。保育園と子育て支援課、こども育成課の関係性よく、情報の共有がしにくいということはありません。叩かれたと言ったときは、保育園が子育て支援課に電話し、児童相談所に連絡しております。

(委 員) 現場の保育所を結びつけるというか、支援がうまくいくようにそういう場を作ったりするのが、こども育成課の役割ってことですね。

(課長補佐) そうです。園から相談を受けた時、現場と一緒に専門職員である保健師、保育士が所属している子育て支援課が対応しており、こども育成課も同行しております。

(委 員) 情報共有でき、対応がスムーズに進むよう現場と専門職員をつないでいることをされているのですか。

(課長補佐) そうです。

(委 員) 保育士の男女比を教えてください。

(課長補佐) 具体的な数字は不明ですが、公立、私立ともに男性の保育士はいます。ただ、割合的にはとても少ないです。

(委 員) 男性の保育士が注目される職業になればよいと思います。

(課長補佐) 保育士の募集で、男性の応募者はありません。

③生涯学習課

○(男女計画) 事業番号 3「女性と男性が共に地域生活に参画することの啓発」について

(課長補佐) 「①目標の設定に掲げている「地域における固定的な性別役割分担意識の解消」を評価する視点と基準を教えてください。」につきましても、第6次嘉麻市アクション

ンプランにおきまして、男女共同参画についての啓発活動の実施を目標とし、令和6年度の目標は、5回となっております。したがって、評価の基準は、啓発活動の実施回数というふうしております。

「②主要課題は、固定的性別役割分担の解消となっております。現在行っているミニプレパークや青空フェスタ等だけでは目的達成に直接つながりませんが、担当課の評価は高くなっているのは疑問に思います。今年度以降のもっと積極的な取組計画についてお聞かせください。」につきましては、①と同様の評価基準で結果としております。昨年度に引き続き、公民館活動等において男女共同参画の視点からという形での、固定的、性別役割分担意識解消に努めております。ミニプレパーク、青空フェスタだけではというような評価ではありますが、いろんな講座の中で、役割分担意識の解消に努めているということでご理解いただければと考えております。

「③担当課からの課題の中に社会教育における男女共同参画の必要性が記されていますが、現状からはその取組が不十分に思えます。公民館活動や地域協働活動の中で、より実践的な方策を考えていただきたいと思います。」につきましては、実践的な内容を検討したいと考えております。公民館活動、それから地域、共同活動の中で、男女共同参画社会の推進、固定的性別役割分担意識の解消がなぜ必要なのかを、地域住民の方々へご理解をいただくように努めていきたいと考えております。

(委員) 公民館事業の青空フェスタとは、山田の生涯学習館で行われているものですか。

(課長補佐) そうです。

(委員) 現在の状況に5回親子95組408人とありますが、青空フェスタとはお祭りのようなものですが、この親子で参加した95組というのはイベントのどの部分ですか。

(課長補佐) あおぞらフェスタの中でもいろんなパートがあります。ミニプレパークと一緒にやっており、部分ごとの人数等を記載しております。

(委員) お父さんと来た、お母さんと来た、お父さんもお母さんも一緒に来たという数の把握はできていますか。

(課長補佐) 親子で参加した方の数を記載しています。

(委員) 男女比は分かりますか。

(課長補佐) お父さんお母さん2人一緒にというのは少ないです。男性が入っているのが2割あるかという現状です。子どもが2人、3人となると、お母さん1人で連れてくることが大変ですから、2人一緒に参加してあります。

(委員) ミニプレパークのことは、保育園でチラシをもらってくるのですが、今後公式LINE等、SNSで発信する予定はありますか。

(課長補佐) SNSで発信することについては、現在検討しております。

(委員) 評価の視点、基準という意味では実施回数であるということなので、達成できると受け取ったんですが、内容的にミニプレパークで、性別役割分担意識を是正するための視点、活動とはどんなことが行われてるのですか。

(課長補佐) 生涯学習とは、学校教育分野以外をすべて該当すると捉えております。全事業において、今言われるような視点を重視すべきってところがありますが、加えて、生涯学習としては、学校教育や社会教育文化を含めて、いろんな学習の場であるというふうに考えていますので、職員全員、意識を持った中で対応しているというのが現状であります。

(委員) なぜミニプレパークやあおぞらフェスタが男女共同参画の事業になってるかという説明、男女共同参画の事業だとしているなら、なぜそう考えるのかっていう説明をお願いします。

(課長補佐) 生涯学習課としては、それが一番の目標ではありません。企画、準備運営、後片付けに至るまでの過程において、男性はこれだ、女性はこれだというようなこともなく、皆さんで、1つの事業を達成していくってところを重視してるというのが生涯学習課の考え方です。

○(男女計画) 事業番号 16「男性に対する学習機会の提供」について

(課長補佐) 「①課題で「一緒に参加できる講座も住民ニーズとして捉え、検討していきたい。」とのことですが、実際に住民の声としてあがってきているのですか。」の回答になります。公民館利用者と接することが多い各地区公民館の館長、職員等が利用者との関わりの中で住民のニーズとして感じたことです。

「②事業内容から考えると、「男のための簡単ストレッチ教室」、「みそ作り講座」だけでは不十分な気がします。どの様に評価、検討され、令和7年度事業に生かす予定でしょうか、教えてください。」

「③「男のための簡単ストレッチ教室」や「みそ作り講座」は、趣味の講座の領域のように思えます。介護講座の推進は良いと思います。主要課題に沿った講座の内容を望みます。」については、繰り返しになりますが嘉麻市アクションプランに沿って事業、事業内容を検討し評価をしております。また、改めて、生涯学習の意義について説明をさせていただきます。生涯学習等は、人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、それから、ボランティア活動、趣味などを様々な場や機会において行う学習を、生涯学習というふうに一般的に言っております。そこで、生涯学習課としましては地域住民の方に生涯学習を提供する一環として、また1人でも多くの地域住民に公民館を気楽に、気軽に利用していただくように、学習機会を提供しているところでございます。内容についてはいずれも、先ほどから言いましたように男女共同参画の視点を持った講座という形で検討を行っているところであります。ですので今後も引き続き、男女共同参画の推進への一端を担っていることも意識しながら、生涯学習、の学習機会の提供をしていきたいというふうに考えております。

(委員) 説明いただいたんですが、結局みそづくり講座に男女共同参画の視点も入れつつ、選んだ理由は何ですか。

(課長補佐) どうしても女性が中心の講座となってしまうため、どうしても男性に参加していただきたいという思いがあり、男のためという名称にいたしました。

(委員) 男性のための簡単ストレッチ教室というのが、男女共同参画の視点から見たときに、どういった視点になるのかと思います。

(課長補佐) これだけがメインでやるということではなく、参画してもらうことをプラスとしてやっていくということです。

(委員) 市の予算で講座をするのですから、内容を吟味して、講座のテーマを決めてもらいたいと思います。

(課長補佐) 今後検討したいと思います。

(委員) 昨年も気になっていましたが、目標の設定では4地区の公民館で開催になってますが、現在の状況では3地区となっています。理由は何ですか。

(課長補佐) 開催場所の改修工事のため、過去1年につきましては、合同で実施しております。

(委員) 既存の事業に関しては、生涯学習ってということで、展開されており、それ自体実施の意義があることは分かりました。一方、男女共同参画の事業をやろうとする時に、既存の事業の中に、男女共同参画を学ぶような事業をプラスしてもいいのではないかと思います。どういう事業が展開できそうなのかということを生涯学習課の役割等踏まえて、男女共同参画としてできそうなことを工夫していただき

たいと思います。

2) 実施状況調査審議会意見欄の提出について

○意見欄に記載する意見の提出について、事務局より説明。

〔質問事項〕

特になし

3) その他

○次回審議会について、事務局より説明。

9 配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 質問総括表
- ・ 調査票の委員割当表
- ・ 実施状況調査審議会意見欄
- ・ 第2回審議会の会議録
- ・ 令和6年度実施状況調査票

令和7年9月26日

会議録確認者 河野 高志